

令和3年4月30日発行

さんあい広報タスク

児童養護施設さんあい 一時保護所オリーブ ファミリーホーム三愛茜の里 自立援助ホーム三愛子ひつじ寮



新年度によせて

施設長 高瀬 一使徒



昨年度に続き、令和3年度もコロナ禍の中で迎えることになりました。ワクチンの接種開始で状況が改善されてゆくことを切に願いますが、第4波の襲来や3度目の緊急事態宣言の発令等を想定し昨年度同様に臨機応変に対応してゆくことが求められます。

昨年度は、子どもや職員の発熱の度に、グループラインを活用し24時間体制で危機管理委員の間で情報共有を行い意思決定することができました。このような危機管理的な事項の対応の他に、今年度からは国の指針である「新養育ビジョン」の流れが加速してゆくこととなります。具体的に言いますと里親委託推進、施設の小規模化と地域分散化、多機能化・高機能化の促進です。これらのことに対応してゆくために運営委員に主任と危機管理タスクリーダーを加えた「拡大運営委員会」を設けて、危機管理事項と新養育ビジョンの適切なフォローアップをしてきたいと考えています。

虐待や不適切な養育環境から障害を抱えている子が多くなっています。関わりを持ってほしい気持ちを言葉にできずに暴言や暴力という方法で表現してしまう子たち、ほんの些細なことで、激昂してしまう子たち。そのような子たちの生活支援の現場では職員が傷つき心身ともに疲弊してしまいます。今年度は昨年度に引き続き職員のメンタルヘルス支援を強化してゆक्तつもりです。

また、コロナ禍ではありますが、「さらに多くの子どもたちを支援するために、事業の質を向上し、その規模を拡大してゆく。」という法人の7か年計画を前に進めてゆきたいと考えております。課題の多さと大きさに怯んでしまいまいがちですが、何も無い中でこの法人を立ち上げた創設者や当時の職員のことを思えば、勇気が湧いてきます。そして創設者がそうであったように、子どもたちを特別に愛しておられる創造主なる神様により頼んで歩んでまいりたいと思います。



三愛学園をご支援くださる皆様のご健康と平安をお祈り申し上げます。

入園・入学おめでとう

幼稚園入園

Q.幼稚園で何をして遊びたいですか？

M君：車のおもちゃで遊びたい。

K君：園庭の遊具で遊びたい。

Hちゃん：かけっこしたい。

Q.大きくなったら何になりたいですか？

M君：ショベルカーやはたらく車の運転手さん

K君：電車の運転手さん

Hちゃん：電車とバスの運転手さん

小学校入学

Q.小学校で楽しみなことはなんですか？

Sちゃん：粘土でねこをつくることです。

M君：お勉強です。

R君：校庭で遊ぶことです。

Q.小学校で頑張りたいことはなんですか？

Sちゃん：お勉強！たくさん絵を描きたい！

M君：お友達と沢山遊びたいです。

R君：勉強を頑張る！テストで100点を取る！

中学校入学

Q.中学生活で楽しみなことはなんですか？

Sちゃん：図書室の本を読むことです。

R君（かしのき）：部活動。

R君（もみのき）：文化祭。

H君：運動を頑張りたい。

Q.中学での目標を教えてください。

Sちゃん：友達と仲良くなる。

R君（かしのき）：勉強を頑張って学ぶこと。

R君（もみのき）：数学。

H君：友達をつくること。

高校入学

Q.高校生活で楽しみなことはなんですか？

Nちゃん：勉強・運動・コミュニケーション。

Q.将来の夢は何ですか？

Nちゃん：パン屋さんになることです。

入園・入学を祝う会



新しくさんあいに入所した子、幼稚園に入園した子や小学校、中学校に入学した子、高校に進学した子達の門出をみんなでお祝いしました。また、新しくさんあいに入職した職員の紹介や出し物も披露しました。今年もみんな揃っての会食はできませんでしたが、それぞれのホームでお祝いの会食をしました。新しい環境でのスタート、みんな頑張って！



入職職員7名でクイズを出しました。



新しくさんあいの職員になりました！

よろしくお願いします！

新任職員に質問です！

- 1, 出身地
- 2, 趣味
- 3, 特技
- 4, こんな職員に
なりたい
- 5, 一言メッセージ

氏名

好きなものと
一緒に
写真を
撮りました！

- 1, 千葉県
- 2, カメラ・お菓子作り
- 3, ダンス（15年やってました！）
- 4, 子ども達が帰って来てホッと一息つける空間を作れるような職員になりたいです。
- 5, 前職とは全く違う職場なのでわからないことばかりですが、先輩職員を見習って精一杯頑張りたいと思います！

いわさき
岩崎はるか



- 1, 青森県
- 2, 身体を動かすこと、音楽を聴くこと
- 3, バレーボール・習字
- 4, 子どもたちの楽しい事、辛いことなどどんな瞬間にも寄り添っていき、子どもたちと一緒に成長できる職員になりたいです。
- 5, まだまだわからないことも多いですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

なりた えみこ
成田 絵海子



- 1, 埼玉県寄居町
- 2, 運動・映画鑑賞
- 3, 中学校からやっている卓球
- 4, 当たり前である事からしっかり意識し、子どものお手本となるような職員になりたいです。
- 5, 子ども達と一緒に楽しく毎日笑って過ごしていきたいと思っています。

おおたに あやか
大谷 綾花



- 1, 埼玉県美里町
- 2, アニメをみること
ゲームをすること
- 3, 水泳・バスケ
- 4, 先輩方のような子どもたちを常に考え思いやれる職員
- 5, 分からない事だらけですが全力で頑張ります！
よろしくお願いいたします！！

なかざわ ゆうき
中澤 悠葵



- 1, 埼玉県寄居町
- 2, 読書、音楽鑑賞、ゲーム、写真撮影、風景画を描く等
- 3, 弓道
- 4, 子ども達に安心してもらえる存在になりたいです。
- 5, まだまだ頼りない面の方が多いですが、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

なかじま ゆみ
中嶋 優美



- 1, 群馬県
- 2, 韓国アイドルを可愛がること
- 3, どこでも寝られること
- 4, 子ども達、先輩方、同期の皆に信頼してもらえるような職員になりたいです。
- 5, 足りない部分が沢山あると思いますが一生懸命頑張っていくのでよろしくお願いいたします！
見かけたら声を掛けてもらえると嬉しいです。

すが まゆか
菅 真由香



- 1, 埼玉県熊谷市
- 2, 寺院巡り(御朱印集め)と美味しいものを食べるための旅行・温泉
- 3, ラグビー
- 4, 子どもの手本となり挑戦や失敗を見守れる職員
- 5, 子どもに恥ずかしくない大人となれる様実直に頑張ります。
よろしくお願いいたします。

やしまた りゅうた
矢島 龍太



アニマル・クラブの新しい仲間

アニマルセラピーの一環で、4年前から園内で犬とウサギの飼育をしています。お世話をするのは、動物が大好きな子ども達が集まってできた“アニマル・クラブ”のメンバーです。

今年度は12名のメンバーでスタートしたクラブ。子ども達には、当番の日が割り振られ、決められた時間に集合してお世話をします。これは命を預かるうえで疎かにしてはいけない事だと常々伝えていきます。自分の予定があっても、宿題が多い日でも、責任を持って当番のお仕事を行う事を約束としています。そんな毎日のお世話の中から責任感を養うとともに、動物達と触れ合いながら心の安定が醸成されていくよう、ゆっくりサポートしていけたらと思っています。

そんな当番を日々、頑張っているクラブの子ども達からの要望により、この春からさんあい新しいお友達を迎え入れる事になりました。生後2か月のオスのティーカップ・プードルです。名前は「トト」。トトは先天性白内障で目が見えません。でもその他の感覚を使って元気いっぱいです。臭いを嗅ぎわけ気配を感じ、元気に子ども達の後を追いかけています。しかし人間でいえばまだ幼児のトト。身の回りのお世話をしてもらいながら大きくなっていきます。そこでクラブの子ども達の出番です！皆、小さな仔犬のお世話は初めてで、先住犬ポニーのお世話よりも大変です。注意しなければいけない事も沢山あります。しかし、アニマルクラブで培ってきた責任感と優しい心で、自分よりも小さな命を大切にお世話してほしいと思っています。このトトとの出会いを幸せに思い、その成長と共に子ども達の自己肯定感も育てていけるよう、見守っていきます。



ワクノビ・クラブが始まります！

他者のお世話やお手伝いをする事は、子どもにとって「コミュニケーション力をつける」「自信や自立につながる」「責任感が身につく」「自分で考える力がつく」「自己肯定感を育む」といったメリットがあります。そして他者の役に立つという経験を通して、子どもたちはこの世に存在する意味があることを実感できるようになります。さんあいでは、これまでそのような取り組みを行ってききましたが、今年度は園内のクラブ活動として位置付けて行うことにしました。名称は「ワクノビ・クラブ」。ワクワクするようなことを、ノビノビとやろう、ということから命名されました。

これから、以下のような活動をみんなで相談しながら、準備、実施していく予定です。

- * 日本や世界でいろいろな活動をしている人たちのお話を聞く会（講演会）や映画会など
- * 老人福祉施設やさまざまな活動を行っている施設の訪問、地域のボランティア活動
- * タイの「豊かな人生の家」の支援と交流



さんあいインタビュー

「コロナ禍もあり、怒涛の1年でした」と新任職員だった昨年をふりかえる梶原さんは入職2年目。男の子ブロックで奮闘するたのもしなお兄さんです。



① さんあいで働きたいと思うようになったきっかけは何ですか？

学生時代、保育園や幼稚園で実習をした際に、昼間だけでなくもっと長い時間、子ども達の生活を見たいと思ったこと、そして、その子たちが成長していく姿も見たいと思ったことが児童養護の道を選んだきっかけです。そこで職員募集をしている児童養護施設を調べ、見学をして話しを聞いた中から、さんあいならば自分の思いを実現できる場所だと確信し、応募しました。



子どもたちと、また満開の桜を楽しむことができました。

② 入職して1年が過ぎましたが、入職前に想像していたことと、実際に働いてみての違いはありましたか？

思ったよりも体力仕事だと思いました。遊ぶことはもちろんですが、子ども達のエネルギーを受け止めるのには体力も精神力も使います。小雨の降る夜、子どものことでグラウンドに立ち尽くしたこともあり。今、ふりかえれば良い思い出ですが。

うれしかったのは、子ども達から「一緒に遊ぼう！」と声を掛けてもらえた時です。同じ目線で子ども達とかかわれている喜びを感じます。

③ 仕事の支えになっていることはなんでしょう？

同期入職の仲間の存在です。年齢差がある人でも、同じ時間の流れを共有している者同士、話をされていて楽しいです。同期の仲間の奮闘ぶりを見て、自分ももっと頑張ろうと思います。

④ ストレスを解消するために何かしていますか？

元来、ストレスをため込むタイプだとは思っていません。ただ、コロナの影響で以前はよくしていた旅行に行かなくなったり、好きなゲームセンターも控えたりしているため、気持ちの切り替えが難しいと思うことはあります。そこで、電話で友人と以前に行った旅行の思い出話や、ゲームセンターに行く代わりに買ってきたボードゲームの話しをすることで、また仕事を頑張ろうと気持ちを奮い立たせています。

⑤ この春に入職してきた後輩職員へメッセージをお願いします。

時には子ども達からの言葉や力による試し行動で辛い思いをすることもあっても構いません。そのような時には先輩職員や同期にどんどん話してみると良いです。きっと良いアドバイスが貰え、前に向かう力が湧いてくるはずですよ。



部屋の子もたちとの外出。今年も行きたいです。

オリーブ

2回目の緊急事態宣言が発令され、外出がなかなかできなくなりました。解除されるまでは子どもたちは毎日外で遊んだり、室内では歌ったり踊ったりと元気に過ごしていました。3月には高校入試があり、オリーブにも受験生がいましたが、無事志望校に合格することができ、ホッとしています。緊急事態宣言が解除されてからは、外出が出来るようになり、休日は公園や図書館等に行き、この間はお花見もしました。
(羽根田)

茜の里

茜の里は、今年で6度目の春を迎え5人の子も達も期待を胸に進級・進学しました。E君は看護師を目指していますが、柔道を続けると児玉高校体育科へ10キロの道のりを自転車で通っています。中3になったAちゃんは、お年寄りが好きで介護の仕事を希望し、中2のB君はJR貨物に就職して機関車の運転手になりたいそうです。中2のK君は部活動のラクビーを頑張っています。中2のM君は制服がないから熊高に入る？等々、子ども達の成長を実感できる季節でもあります。これからも地域に生まれ、みんなで支え合いながら、子ども達にとって安心安全な生活の場であるように努めて参ります。これからも、ご支援宜しくお願い致します。(野口)



ゲーム大会

新型コロナウイルスの影響で、遠出や人混みを避けるため、春休みも子どもたちの外出は制限されたものとなりました。そのような中、たまったストレスを発散させようと職員がゲーム大会を企画。これも新型コロナウイルス対策の一環で県より支援をいただき導入した65インチ大型モニターを使い、大人数(しかも交流ホールの広いスペースで)での競技会が開催出来ました。参加した男児5名は、迫力の大画面でのマリオカート、スマッシュブラザーズに大盛り上がり。勝った子も負けた子も、再戦を楽しみにしています。(平本)



お花見

毎年恒例の桜のお花見に行ってきました！コロナ禍でもあり、久しぶりのお出掛けだったので、みんな元気に風に舞う桜の花びらを追いかけたり、遊具で遊んだり、かくれんぼをして走り回っていました。雨がポツポツ降り始めても、帰るよー！の声をかけるまでみんなで夢中になって遊んで楽しかったようです。(鈴木)

いちようの広場



それぞれの退所

今年は、1名が短大進学のため、3名が家庭復帰のため退所しました。退所児童の心情は様々だと思います。また見送る児童の心情も様々に違いありません。大人であっても複雑な思いを言語化するのは難しい事です。子どもであればなおさらです。淡々と笑顔で退所する子、そして「またねー」と見送る子。しかし、その心の奥底に流れる特別な思いはどんなでしょうか。ある子は、おやつで食べた1年分のジャガリコの空きカップを使って3mにもなるアーチを作り、それをくぐって自分の退所の記念としました。ある子は、表面上は次の生活への期待で胸一杯のオーラを放っていました。共通していたのは、少々メランコリックになっている職員を後にして元気で笑顔で退所していったことです。児童養護施設として職員として一つの役割をはたした思いです。(高瀬)

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

ご寄付は右記の口座をお願いします。*お名前をお入れください* 埼玉りそな銀行 岡部支店 0058888

編集後記

桜の季節はそろそろ終わり新緑が芽吹いてきました。見渡す山々が新緑の薄黄緑色になると心がウキウキしてきます。しかし今年も山登には行けそうにありません。ですが最近よく耳にするVR(Virtual Reality:仮想現実)！今年は初めてVR映像での登山に挑戦してみようと思っています。コロナ禍だからこそその挑戦と思い、景色を楽しみながら楽しんで登ってきたいと思っています。
(広報タスクー同)